

コレだけは覚えておきたい！観戦ルールブック

1.カヌーとは

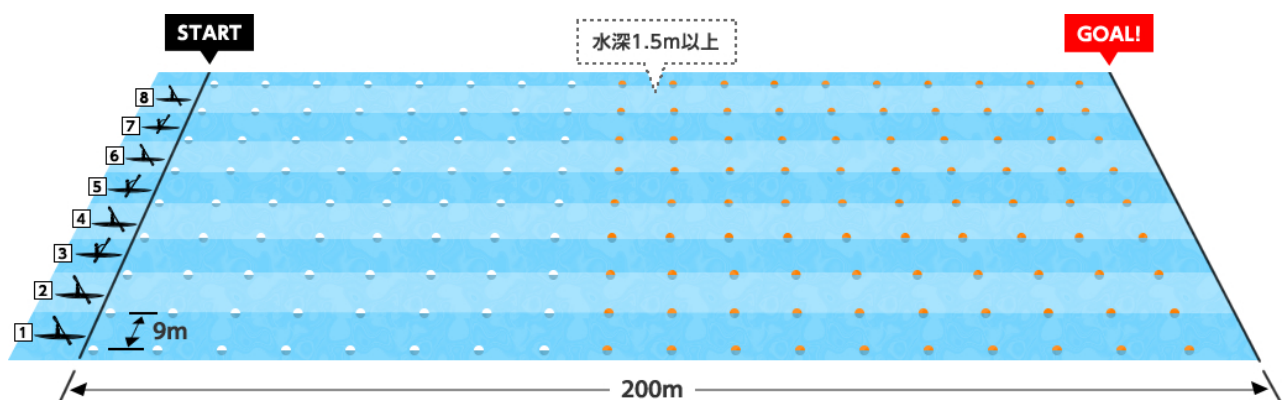
カヌーとは、1人乗りの艇で川や湖などの静水に設置された200mの直線コースを、両側に水かきがついたパドルを使って漕ぎ進み、ゴールまでのタイムを競う競技。

男子と女子があり、基本的なルールは一般のカヌー競技のスプリント種目と同じだが、障がいの種類と程度に合わせてクラス分けがされ、そのクラスごとにレースを行い順位を決定する。

コースイメージ

ブイによって8レーンに分かれており、1レーンの幅は9m。

ブイはコース上に12.5mおきに設置され、ゴール手前100mから色が変わっている。



POINT

自然条件が記録に大きく影響するカヌーは、試合が行われる会場の下見が非常に重要。選手は本番の1~2週間前から会場入りし、どれくらいの風が何時ごろどこから吹くのか、コース設定は川の上流なのか、下流なのかなど、その土地の特徴をつかみ作戦を立てる。試合当日がどんなコンディションであっても実力を発揮できるよう、技術だけでなく、用具や体調も含めた総合的な調整を行っていく。

2.カヌーのルール

川や湖などの静水に設置された200mの直線コースを、1人乗りの艇でパドルを使って漕ぎ進み、ゴールまでのタイムを競う。

男子と女子があり、基本的なルールは一般のカヌー競技のスプリント種目と同じだが、障がいの種類と程度に合わせてクラス分けがされ、そのクラスごとにレースを行い順位を決定する。

【用具】

●艇

競技用カヌーの艇は、速さを追求するためレジャー用とは異なり、細長い形状をしている。全長5.2m以内、重量12kg以上、幅50cm以上という規定がある。



POINT

水の抵抗を減らすため、艇はできるだけ細く長いものが理想とされているが、その分バランスは取りにくくなり操作が難しく、転覆しやすくなる。
選手は規定内で自身の最大のパフォーマンスが出せる長さや重さ、素材の艇を選んで使用する。

●パドル

水をかき、艇を漕ぎ進めるための道具。カヌーでは両側にブレードと呼ばれる水かきがついたものを使用する。

ブレード部分は平たいものやスプーン型のものがあり、選手は自身の身体能力や好みに合わせて選択する。



POINT

自身の力を効率よく最大限水に伝えられるよう、選手はそれぞれ自分のベストな入水時のパドルの位置や角度を模索し、自分のフォームを確立していく。

【スタートとゴール】

●スタート

各艇は横一列に並んで、発艇装置に艇の先端を入れ、レディー(パドリングの準備)、セット(漕ぎ始めの位置でパドルと艇を停止)、ゴー(スタート)の掛け声でスタートする。

ゴーの合図の前にパドルを動かした場合はフライングとなる。

●ゴール

艇の先端がゴールラインを通過した時点でゴールとなり、タイムは1/1000秒単位で計測される。

【失格になる場合】

- ・パドルや艇がレーンからはみ出した場合。
- ・転覆したり、艇やパドルが壊れてゴールできない場合。
- ・1回目のフライングを誰がしたかに関わらず、2回目にフライングをした場合。
- ・艇の重さがレース後の検査で規定を満たしていない場合。

3.カヌーのクラス分け

障がいの種類と程度により3つのクラスに分けられ、そのクラスごとにレースを行い、順位を決定する。

クラス	区分内容
KL1 重度	体幹が機能せず、腕のみで艇を操作する。
KL2	体幹が機能しており、腕だけでなく上半身全体を使って艇を操作する。
KL3 軽度	上半身だけでなく足も使うことができ、身体全体を使って艇を操作する。

障がいの
程度
の